

## 石山寺旧蔵本『金光明最勝王経』

蛭沼, 芽衣  
九州大学大学院人文科学府 : 博士後期課程

<https://doi.org/10.15017/1518333>

---

出版情報 : 文献探究. 53, pp.1-, 2015-03-31. 文献探究の会  
バージョン :  
権利関係 :

石山寺旧藏本『金光明最勝王經』

金光明最勝王經序品第一

藏法師義淨奉 制譯

如是我聞一時薄伽梵在王舍城鷲峯山頂  
於最清淨甚深法界諸佛之境如來所居與  
大慈菩薩九萬八千八千八千八千八千八千  
伏如大鳥王諸漏已除無復煩惱心善解脫  
慧善解脫所作已畢捨諸重擔速得已利盡  
諸有結得大自在住清淨戒善巧方便智慧  
莊嚴證八解脫已到彼岸其名曰具壽阿若  
憍陳如具壽阿說侍多具壽婆溼波具壽摩  
訶那摩具壽婆帝利迦大迦攝波優樓頻螺  
迦攝伽耶迦攝那提迦攝舍利子大目犍連唯  
阿難隨住於學地如是等諸大聲聞各於時  
時從定而起往詣佛所頂禮佛足右繞三  
匝退坐一面  
復有菩薩摩訶薩百千萬億人俱有大威德  
如大龍王名稱普聞眾所知識施戒清淨常

假使波羅華可成於傘蓋能遮於大面方求佛舍利  
假令大船船盛滿諸財寶能令陸地行方求佛舍利  
假使鷲鷲鳥以紫銜香山隨處狂遊行方求佛舍利  
今時法師授記婆羅門聞此頌已亦以伽他  
答一切眾生喜見童子曰

善哉大童子此眾中吉祥善巧方便心得佛無上記  
如來大威德能救護世間仁可至心聽我今次第說  
諸佛境難思世間無與等法身性常住修行無差別  
諸佛體皆同所說法亦亦諸佛無作者亦復本無生  
世尊金剛體權現於化身是故佛舍利無如芥子許  
佛非血肉身云何有舍利方便留身骨為益諸眾生  
法身是正覺法界即如來此是佛真身亦說如是法  
今時會中三萬二千天子聞說如來壽命長遠  
皆發阿耨多羅三藐三菩提心歡喜踴躍得  
未曾有異口同音而說頌曰

佛不般涅槃正法亦不滅為利眾故亦現有藏盡  
世尊不思議妙體無量相為利眾故現種種莊嚴  
今時妙懂菩薩親於佛前及四如來并二大  
士諸天子所聞說釋迦牟尼如來壽量事已  
復從座起合掌恭敬白佛言世尊若實如是  
諸佛如來不般涅槃無舍利者云何經中說

# 解説

蛭沼芽衣

『金光明最勝王経』は、『金光明経』の異訳である。原典は、大乘仏教の経典『スヴァルナ・プラバーサ・ストトラ (suvarṇa prabhāsa)』で、漢訳には五種ある。第一本は、北涼の曇無讖訳、四卷十九品、第二本は、陳の真諦訳、七卷二十二品、第三本は後周の闍那崛多訳、五卷二十品、第四本は『合部金光明経』と名付けられており、八卷二十品、隋の宝貴が古訳を統合したもので、第五本は、『金光明最勝王経』と名付けられており、十卷三十一品、唐の義浄が將來した新梵本によって訳出したものである。現存するのは『金光明経』『合部金光明経』『金光明最勝王経』の三本のみである。いずれも『大正新脩大藏経』卷十六 (No. 663-665) に収められている。

経文中に、この経を広宣説誦する王国があれば四天王・弁財天などがその国土を擁護し人民を安穩ならしめ、また国王が正法をもって民衆を統治すれば国土は豊樂、諸天善神が守護すると説くため、中国に流伝すると本経は大いに信仰された。日本の文献における初見は『日本書紀』天武天皇五年条で、「甲申、遣使於四方国、説金光明経・仁王経」とある。天武朝以後は『仁王般若経』とともに護国の経典として全国的に講説誦が行われるようになった。聖武天皇は天平十三年に国分寺建立の詔を發布しているが、国分寺の建立がこの経の信仰から出ていることは、詔のなかにこの経の文が引用されていること、僧寺を金光明四天王護国之寺と名付けていることから明らかである。

石山寺に旧蔵されていた『金光明最勝王経』は、『金光明最勝王経』十巻を揃えた希少な一本である。ただし、元は卷子本だったものを折本に改装したようで、天地が切断され書き入れや本文の一部が失われている箇所もある。折本十帖からなり、識語や奥書は存しないが、春日(二九八四)で、本文は奈良朝の書写、訓点は平安中期〜後期に加点されたものと推定している。加点は、巻第一の序品のみ朱墨で、以下はすべて白墨による。朱墨は褪せており見にくくなっている(口絵上段参照)が、白墨は非常に明瞭に残っている。仮名点は、書体や字体が巻によって異なることから、数人の手によって成ったものと考えられる。一方、ヲコト点は朱点・白点とも十巻を通じて同一で、東大寺点(三論宗点)に属するものである。

本経は、石山寺に旧蔵されていたものが、後に春日政治先生の許に収蔵されたものである。さらに、御子息である春日和男先生の手を経、先生のご逝去後、両先生と縁ある九州大学に寄贈されたものである。

## 〈参考文献〉

春日政治(一九八四)「石山寺本最勝王経古点より」『古訓点の研究』風間書房(一九五八)所収  
佐伯俊源(二〇一三)「金光明最勝王経の思想と流伝」『総本山西大寺編 国宝西大寺本金光明最勝王経 天平宝字六年百濟豊虫願経 卷六〜卷十 解題』勉誠出版